

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【学校評価書】

堺市立新浅香山小学校
校長 屋宮 雄一郎

≪中学校区におけるめざす子ども像≫ 「個性を伸ばすとともに、自らを律し他を思いやることのできる子」	≪五箇荘学校群の目標≫ 「自ら学びに向かい、自ら取り組み、自ら表現できる子どもの育成」
--	--

≪新浅香山小学校 令和7年度の重点目標≫	「よりよくしようと考える喜び、人の役に立つ喜び、表現する喜びを持つ児童の育成」
----------------------	---

「確かな学び」の現状 ・学校群の取組「9年間を見通したカリキュラム」とリンクさせ、算数科研修テーマを「考え表現する力を育てる算数科授業の創造」～言葉の力を高める言語活動の充実をめざして～として小中連携や小小連携を進めている。 ・全国学力調査において国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」算数「直方体・円柱の見取り図や展開図を作図できる」の項目が高く、これまで研修目標として取り組んできた成果や、中学校連携の成果が表れてきていると感じる。	「豊かな心・健やかな体」の現状 ・「学校へ行くのが楽しい」「自ら進んであいさつができる」がともに80%を超えている。「友だちは自分の良いところを認めてくれる」は95%と高い数値となっているが、「自分にはよいところがある」は堺市平均を下回る。 ・ルールを守ろうと努力する児童や「運動やスポーツをするのが好き」だと答えた児童が、80%を超えている。「早寝・早起きができています」50%程度であり、児童・保護者への継続した声掛けが必要である。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組, ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力の育成	自分で考えたことを表現する力を育成する。	●★言葉の力の育成を推進し、どの教科においても自分で考え交流する場面を数多く設定して、自分の言葉できちんと伝える力を育てる。	「ほかの人の考えを聞いたあと自分の考えを書いたり、発表したりしていますか」の肯定的回答が73%以上。	堺市学力状況調査	10月	△	○	◎
	授業改善	ICTを活用した授業改善を行い、総合的な学力の向上を図る。	●★一人一台のタブレットを活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現する。	「勉強しているときに、わからないことがあってもやり方を変えて、挑戦していますか」の肯定的回答が63%以上。	全国学力学習状況調査 堺市学力状況調査	10月	△	○	○
		道徳年間指導計画をもとに、道徳実践力を図る。	●道徳的判断力、心情、態度、意欲の向上を図り、道徳性の育成に努める。	「人が困っている時に進んで助けていますか」の肯定的回答が90%以上。	全国学力学習状況調査	10月	○	○	○
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	豊かな人権感覚の育成と規範意識の醸成	●「居場所・出番」のある教育活動で自分の良さを知り、自尊感情を育む。	「自分にはよいところがある」の肯定的回答が78%以上。「友だちは自分のよいところを認めてくれる」の肯定的回答が92%以上。	全国学力学習状況調査 堺市学力状況調査	10月	○	○	○
			登校時やいろいろな場面において、状況に応じたあいさつを自ら進んでできるように育成していく。	「自ら進んであいさつができる」の肯定的回答が80%以上。	学校教育アンケート	2月	△	△	○
			いじめ防止基本方針に基づく対応をすともに関係機関と連携する。また、日々の生活における幸福感を高める。	「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が85%以上。「自分は幸せだと思いますか」の肯定的回答が80%以上。	全国学力学習状況調査 学校教育アンケート	10月 2月	○	○	○
	健やかな体	地域・各家庭と協力し、基本的な生活習慣を確立し心身の健康の保持増進と体力の向上を図る。	「早寝・早起き」、「朝ごはん」を毎日続けられるように校報や保健だよりなどで啓発していく。	「早寝・早起き」の肯定的回答が55%以上。「朝ごはんを毎日食べている」の肯定的回答が90%以上。	全国学力学習状況調査 学校教育アンケート	10月 2月	○	○	○
体育の授業や体力向上の取組などを通して、運動の喜びを知り、主体的に取り組む児童の育成に努める。			「運動やスポーツすることが好きですか」の肯定的回答が85%以上。	学校教育アンケート	2月	◎	◎	◎	
地域協働・学校群	信頼される学校	安心で安全な居場所をつくる。学校群の取組を周知し、協力体制を構築していく。	みんなが安心・安全に過ごせるように校内環境を整え、緊急の際の情報等を迅速に発信する。また、日ごろの教育活動をHPで掲載していく。	「ホームページなどで学校の情報をわかりやすく伝えている」の肯定的回答が90%以上。	学校教育アンケート	2月	○	◎	◎
			★学校群の取組を通して、小中連携や小小連携を進め、9年間を見通したカリキュラム改善に取り組む。	「校区の小学校と一緒に学習することは楽しい」の肯定的回答が85%以上。「3年生の時から学校群交流があり、中学校への不安が減少した」の肯定的回答が65%以上。	学校教育アンケート	2月	○	○	◎

校長より (年度末)
 今年度は、市の方針である「学びのコンパス」に向けて各教科において系統的に計画・実行できたと考えている。しかし、この教科学力を推進していくために欠かせない「基礎基本の定着」が身に付いていない児童も少なくない現状がある。そのためにも全教員で基礎学力向上に向けた取組を徹底していきたい。また、心の教育として「気持ちの良いあいさつ」ができる児童を増やしていけるように、教員が率先垂範して改善に取り組み、活気溢れる学校となるように教育活動すべてにおいて取り組んでいきたい。

学校関係者評価者から (年度末)
 良い人に育てていくことが教育の目的である。小学校に上がっても保育園とつながっており、子どもも安心している。目が合う人に育ててほしいと思っており、〇〇しながら話をするのではなく、しっかりと目を合わせて話をするようにしている。大人になって二十歳のつどいにも参加してくれた時に、声をかけてくれるので嬉しく思っている。